

## コラム記事

不正アクセスからの被害報告に関して、毎日様々な業種・会社規模を持つ企業より公表されております。被害による影響も様々ではありますが、少なからず会社運営には支障が出てくると考えております。そんな中で、世界的メーカーでの不正アクセス被害報告記事が掲載されておりましたので、ご紹介いたします。



### コンデンサの村田製作所、不正アクセス被害で情報流出の可能性

(Cyber Security.com 2023/5/2(火)配信 より引用)



画像：株式会社村田製作所より引用

コンデンサの世界的メーカーである株式会社村田製作所は2023年4月27日、同社ファイルサーバーに対する外部から不正アクセスが発生し、サーバーデータが一部流出した可能性があると明らかにしました。

同社によると不正アクセスは2023年3月16日に確認されたもので、同社が社内調査したところ、ファイルサーバーから情報が流出している可能性が判明したとのこと。同社はこのため、外部アクセスを制限し侵入経路を遮断するなどの措置を講じました。

同社は現在、セキュリティ専門機関の協力のもと、影響範囲を調査しています。ただし、公表時点で被害の詳細は明らかにされていません。同社は今後、セキュリティ強化および再発防止策を検討するとしています。



不正アクセスに関しては、大企業・中小企業などの企業規模に限らず、どの会社でも被害に合う可能性があります。

そのためセキュリティ対策についても、各社より様々なソフトが開発・販売されております。

現在のサイバー攻撃のトレンドや、対策ソフトの内容を正しく理解して、自社の情報を守ることが大切だと考えております。